

令和6年

多気営農センター

たより 9月号

稲刈りも概ね済み農繁期は一段落してまいりました。丹精込めて栽培をされたお米の保管は、下記のダイキン製米用低温保管庫『米ッ庫蔵（こめっこぞう）』がおススメです。

大切なお米の管理、農協にお任せしてみませんか？

周辺に優しい静音運転

小型米用低温保管庫
米ッ庫蔵
こめっこぞう

最大270袋まで
収納できる、
米専用タイプも
ご用意
しています。



大画面で見やすく・簡単な操作パネル



抗菌・防カビ仕様

お米はもちろん、
野菜・飲料も低温
保管可能！

2~15℃の幅広い範囲で保管
に適した温度で調節可能！

おいしいお米をいつでも皆様のもとへ！

シンプルで大画面の操作パネル

- ・温度表示は見やすい発光デジタル
- ・機器やセンサー異常はパネル表示
- ・米／野菜モードの切替はワンタッチ

外気温度 0~43℃
まで対応し、夏場の
高温時にも十分な
性能を発揮！

お手入れ簡単
樹脂製スノコ

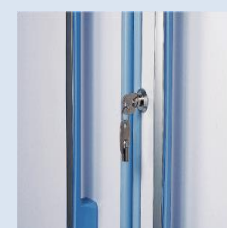
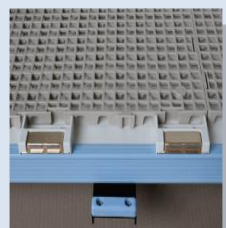
結露を防ぐ
召し合わせ部ヒーター

庫内を仕切れる棚
(別売品)

扉下がり
防止機能を装備

移動がラクラク
大型キャスター

丈夫な
シリンダー錠



○多気営農センターの営業時間について

・9月末まで

平日 → 午前8時45分~午後6時まで

土日祝日 → 午前8時45分~正午まで

・10月より (3月下旬の農繁期まで平日のみの営業に変更となりました。)

平日 → 午前8時45分~午後5時まで

土日祝日 → 休業

※お間違えの無いように宜しくお願い致します



営農指導員たより



朝晩、涼しくなり気候もずいぶん秋らしくなってきました。また稲刈りも概ね終了し農繁期も一段落してきた頃かと思えます。今月は秋冬野菜の定植時期となります。下記を参考に準備をお願いします。

お茶

9月は、茶芽が年間で最も伸長します。
施肥、防除が重要となります。

1. 秋肥の施用

翌年の一番茶の収量に大きく関係するので根が伸びる時期までに施用し深耕して下さい。

2. 防除（8月下旬～9月中旬）

病害（炭そ病・網もち病）の多い時期であり、開葉期に2回防除する。
虫害（コカクモンハマキ・シャクトリムシ・チャノホソガ・チャノミドリヒメヨコバイ・チャノキイロアザミウマ・カンザワハダニ）も多くなるので適期防除する。

秋冬野菜



秋冬野菜は、定植が1日遅れると収穫は1週間遅れると言われていています。適期定植を心がけてください。品目によりませんが、播種後20日～30日程度が育苗期間になります。定植後は土壌が乾いているようであれば少なくとも3日間～7日間はしっかりと灌水し苗の活着を促します。灌水のムラがそのまま生育のムラになるので灌水ムラのないように丁寧に行います。また、定植日の前日又は当日に液肥を入れておくと苗の動きも良くなり、おススメです。

害虫発生状況 ヨトウムシ類

本年のヨトウムシ類の発生は平年並みと予報されています。幼虫は老齢になるにしたがって薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。また、薬剤抵抗性の発達を回避する為、同一系統の薬剤連用を避けるよう気を付けてください。

おすすめ防除

アブラナ科(白菜・ブロッコリー・なばな等)の根こぶ病予防に！

定植前に ⇒ オラクル粉剤 10aに20～30kgを全面土壌混和

キャベツ・白菜・ブロッコリー・レタスのチョウ目害虫等に！

本圃での発生に⇒ ブロフレアSC 2,000倍～4,000倍



肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは



多気営農センター 39-6170 まで 担当の営農指導員が対応致します。